広島商船高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	古典Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	1921002	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般教科	対象学年	2		
開設期	前期	週時間数	2		
教科書/教材	『探求 古典探究』(古文編)(漢文編)(桐原書店)、『古典文法クリアノート』(尚文出版)。その他、必要に応じて配布する。				
担当教員	朝倉 和, 後藤田 和				
到達目標					
<p>(1) 代表的な古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりすることができる。</p> <p>(2) 古文・漢文について、音読・朗読もしくは暗唱することにより、特有のリズムや韻などを味わうことができる。</p> <p>(3) 代表的な古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べるができる。また、それらに親しもうとすることができる。</p> <p>(4) 教材として取り上げた作品について、用いられている言葉の現代の言葉とのつながりや、時代背景などに関する古文・漢文の基礎的知識を習得できる。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	幅広く古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりすることができる。	代表的な古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりすることができる。	基礎的な古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解したり、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりすることができない。		
評価項目2	古文・漢文について、音読・朗読もしくは暗唱することにより、特有のリズムや韻などを味わうことができ、それを踏まえた音読・朗読ができる。	古文・漢文について、音読・朗読もしくは暗唱することにより、特有のリズムや韻などを味わうことができる。	古文・漢文について、音読・朗読もしくは暗唱することにより、特有のリズムや韻などを味わうことができない。		
評価項目3	幅広い古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べるができる。また、それらに親しもうとすることができる。	代表的な古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べるができる。また、それらに親しもうとすることができる。	基礎的な古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置を理解したり、作品の意義について意見を述べるすることができない。また、それらに親しもうとすることができない。		
評価項目4	教材として取り上げた作品以外についても、用いられている言葉の現代の言葉とのつながりや、時代背景などに関する古文・漢文の基礎的知識を習得できる。	教材として取り上げた作品について、用いられている言葉の現代の言葉とのつながりや、時代背景などに関する古文・漢文の基礎的知識を習得できる。	教材として取り上げた作品について、用いられている言葉の現代の言葉とのつながりや、時代背景などに関する古文・漢文の基礎的知識を習得できない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	古典(古文・漢文)を読むことで、日本文化の歴史を理解し、国際人としての基盤を養成することを目的とする。国際人として行動するためには、自国の理解が欠かせない。1年次よりも長文の古典を読むことで、日本文化の多彩な様相について認識を深め、現代の文化の源流を学ぶことができ、日本についてさらに深い理解を得ることができる。古典を学習することは、現代とは違う「ものの見方・感じ方・考え方」を知ることでもある。現代とは異なる価値観を理解しようとし、馴染みのない表現に目を開くことは、広い視野を養い、他者(異文化間・自国間)とのコミュニケーションを実現させる力を養う基礎となる。なお、大学受験を想定しないため、古文の文法や漢文の句法は基礎の習得に留め、内容の理解に重点を置く。				
授業の進め方・方法	(1) 随時、古典文法や、漢文の訓読に関する小テストを行う。 (2) ノートの取り方は事前に指導するので、毎回、授業範囲分の教科書の本文を写してくること。				
注意点	(1) 電子辞書や古語辞典、漢和辞典を持参することが望ましい。 (2) 学習内容についてわからないことがあれば、積極的に質問すること。				
授業の属性・履修上の区分					
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応	
☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	1. 『論語』	1-(1) 孔子や論語について確認する。 1-(2) 正確に訓読し、現代語訳を施す。 1-(3) 孔子の政治・学問・教育に関して理解する。 1-(4) 「君子」に関する孔子の考えを理解する。	
		2週	同上	同上	
		3週	2. 陶潜「桃花源記」	2-(1) 書き下し文を正しく書くことによって、漢文に慣れることができる。 2-(2) 口語訳を通じて、中国の古人の物の見方、考え方、感じ方を知ることができる。 2-(3) 物語の展開に沿って正確に読解する。 2-(4) 桃花源郷が作られた理由をさぐる。桃花源郷と大崎上島を比較する。グループに分かれて、「ユートピア(理想郷)」に関して探究する。	
		4週	同上	同上	
		5週	同上	同上	
		6週	同上	同上	
		7週	同上	同上	

2ndQ	8週	前期中間試験 答案返却・解説	
	9週	3. 『方丈記』 「行く川の流れ」	4-(1) 古文の特徴に注意しながら読解する。重要単語・文法事項を注意する。 4-(2) 口語訳を通じて、時代背景や無常観について関心を深める。
	10週	同上	同上
	11週	同上	同上
	12週	4. 『平家物語』 「先帝入水」	4-(1) 古文の特徴に注意しながら読解する。重要単語・文法事項を注意する。 4-(2) 平家の都落ちから壇ノ浦の戦いまでをまとめ、冒頭の場面の戦況を捉える。 4-(3) 口語訳を通じて、平家が置かれた絶体絶命の状況と、そこでの知盛・女房たち・二位殿の人物像を対比的に捉える。
	13週	同上	同上
	14週	同上	同上
	15週	同上	同上
	16週	前期期末試験 答案返却・解説	

評価割合

	試験	小テスト	レポート・課題	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	10	20	0	0	0	100
基礎的能力	70	10	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0